

2月の衛研検査情報

～トピックス～

年末一斉食品収去検査

年末食品等一斉点検事業は厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全審議官から出された「平成29年度食品、添加物等の年末一斉取締りの実施について」の通知に基づき、食品流通量が増加する年末および食中毒患者が最も発生する冬季における食中毒の防止を図るとともに、積極的に食品衛生の向上を図る見地から全国一斉に実施されました。

年末一斉点検の期間中に食品専門監視班および福祉保健センターの収去した検体について、当所が行った食品添加物検査および細菌検査の結果について報告します。

主な結果 食品添加物検査は、173検体（輸入品119検体、国産品54検体）の食品について、菓子類、野菜類・果実およびその加工品などを重点的に、保存料、着色料、酸化防止剤など2,484項目の検査を実施しました。その結果、いずれも食品衛生法および食品表示法に適合していました。

細菌検査は、89検体の食品について、冷凍食品、洋生菓子、そうざいなど、210項目の検査を実施しました。その結果、規格基準違反が1検体、衛生規範不適が3検体ありました。

魚介類中の食品汚染物検査

平成29年6月と11月に中央卸売市場で収去した市内に流通する魚介類9種10検体について、PCBの検査を行いました。また、平成29年7月に中央卸売市場本場食品衛生検査所で行った魚類の総水銀検査で、ハチビキ1件から暫定的規制値（0.4ppm）を超える総水銀が検出されたため、当所でメチル水銀の検査を行いました。

主な結果 PCBの検査は全て不検出でした。また、メチル水銀の検査では暫定的規制値（水銀として0.3ppm）を超える0.43ppmが検出されました。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成30年1月は、インフルエンザ流行情報、大麻（マリファナ）、クロストリジウム-ディフィシル感染症に関するページのアクセスが多くみられました。総件数は254,705件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。